

解答プリント「中学社会・地理的分野」

■確認プリント

7 世界から見た日本①

【評価の観点】㊦：思考・判断・表現 ㊦：技能 ㊦：知識・理解

解答例	解説
<p>㊦ (1) 環太平洋造山帯</p> <p>㊦ (2) 日本アルプス</p> <p>㊦ (3) 日本海流〔黒潮〕</p> <p>㊦ (4) 暖流</p> <p>㊦ (5) イ</p> <p>㊦ (6) 過疎地域</p>	<p>㊦ (1) 環太平洋造山帯には日本列島のほか、アンデス山脈、ロッキー山脈、フィリピン諸島、ニューギニア島、ニュージーランドなどがふくまれる。</p> <p>(2) 北から北アルプスともよばれる飛驒山脈、中央アルプスともよばれる木曾山脈、南アルプスともよばれる赤石山脈である。</p> <p>(3)(4) 赤道から北極に向かって流れる暖流である。濃い藍色をしていることから黒潮とよばれている。</p> <p>(5) 雨温図は、冬に雪のため降水量が多い日本海側の気候を示している。地図中のアは釧路、イは新潟、ウは浜松、エは高松、オは那覇である。</p> <p>(6) 過疎地域は山間部や離島などに多く見られる。</p>
<p>㊦ (1) ア</p> <p>㊦ (2) 米</p> <p>㊦ (3) 促成栽培</p> <p>㊦ (4) 銚子</p> <p>㊦ (5) 太平洋ベルト</p> <p>㊦ (6) 中京工業地帯</p>	<p>㊦ (1) 内陸部に多く分布していることから考える。イの火力発電所は消費地に近く、原料となる石炭や天然ガスのほとんどが輸入されていることから大都市に近い臨海部。ウの原子力発電所は、安全性、安定した地盤と冷却用に多くの水が必要なことなどから大都市から離れた沿岸部。エの風力発電所は一年を通して一定の風が吹く地域を中心に立地している。</p> <p>(2) 生産量が多い順に、新潟県、北海道、秋田県、茨城県、山形県となる（2012年）。</p> <p>(3) 宮崎県・高知県の沖合を暖流の日本海流が流れるため、一年を通して温暖な気候となっている。宮崎県はきゅうり、高知県はなすの生産量が日本一となっている。促成栽培は他の地域でも行われるようになったため、競争が厳しくなっている。</p> <p>(4) 千葉県の利根川河口に位置する銚子港は、沖合・沿岸とともに遠洋漁業の基地であり、全国各地の漁船がここに水揚げする。</p> <p>(5) 太平洋ベルトには工業地帯・地域だけでなく、日本の主要都市のほとんどが位置している。</p> <p>(6) 中京工業地帯には、自動車工業の発達した豊田市、石油化学工業が発達した四日市市、鉄鋼業が発達した東海市などの工業都市がある。</p>